

2025 年度 社会福祉法人めやす箱
支援サポートセンター めやすばこ・リーチ
事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下 3 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 職員の支援の質の向上および利用者満足度の向上
- ② 新たなやりがいや働きがいの創造
- ③ 地域に根づいた事業運営

以下、各項目について記載する。

① 「職員の支援の質の向上および利用者満足度の向上」について

職員の支援の質の向上のため、研修委員会と協同し自閉症支援に関する法人全体研修を開催した。リーチ職員が登壇し、自閉症支援の基礎についての講義を行っている。年度末には法人事例報告会を開催した。6 部門での支援の経過について報告し、ケースを通して各事業所における取り組みや支援を知ることができる機会となった。100 名を超える職員が参加し、アンケートの結果から、他部門の事業内容の理解や支援に対する動機づけに繋がったと感じている。次年度以降も継続的に開催していきたい。

実際の支援の現場には事業所アドバイザーという形で介入し、事例検討を行った。今年度はめやすばこ・きつず、めやすばこ・きつずⅡ、めやすばこ ひ・よ・り きつず、めやすばこ きつずおらす、いっぽいっぽでの事例検討を行っている。フォーマルアセスメントを実施した上で、ご本人の様子映像から特性理解や機能分析を行った。次年度以降はコンサルテーションという形で、児童部門、就労部門、生活介護部門での実践を目指していく。

また、今後の支援力向上の取り組みを検討するにあたり他法人の視察を行った。各法人における取り組みや研修体制は様々であったが、今後進めていく「年数別研修」や「コンサルテーション」において、めやす箱として取り入れられる要素を精査していきたい。

さらには、他部門の研修へ参加できる体制整備を進めることで様々な学びの機会を提供できることに取り組んだ。リーチ職員も研修へ参加し、専門性の向上に努めている。次年度以降リーチ職員の学びを法人へ還元すること、それによる職員の支援の質の向上を目指し、具体的な取り組みを進めていきたい。

② 「新たなやりがいや働きがいの創造」について

リーチの取り組みを進める中で、まず初めに職員を対象としたアンケートを実施した。支援の中での困り感やサポートが必要だと感じる場面について部門ごとに集計を行っている。今後はその結果を、支援に関する研修やコンサルテーションに反映させていく予定である。

また生活介護事業所カラフルにて、リーチが仲介しながら岡山県発達障がい者支援センターが行っているコンサルテーションの受け入れを行った。その中ではコンサルタントが職員に気づきを促すことで職員が学びを深め、それを実践することでご利用者の姿が変わっている様子が見られた。またその過程が、職員の達成感にも繋がっていたと感じる。今後はリーチが進めるコンサルテーションにおいても、職員の達成感や喜びに繋がられるよう取り組みを進めていきたい。

他部門の研修へ参加できる体制整備を進めてきたが、その取り組みにより学びたい職員の学ぶ機会を確保することができた。特に事例検討においては、様々な経験のある支援者同士で意見交換をすることが有益であったと感じる。次年度以降はオンラインでの研修参加や書籍等が借りられる「めやす文庫」の体制を整え、学びたい思いを持つ職員が学ぶことのできる環境整備を進めていきたい。

今年度の課題としてはリーチ職員の業務負荷が挙げられる。次年度は業務全体の調整を行うと同時に、リーチにおける業務を明確化、システム化しながら業務負担の軽減を図っていく。

③ 「地域に根づいた事業運営」について

児童部門と連携しながら地域支援事業を進めてきた。めやすばこ みっけ、めやすばこ ふたば、めやすばこ ぽかぽかの3事業は少しずつ地域に定着してきており、参加を希望される方や地域からの問い合わせが増えてきている状況である。地域のニーズを拾い上げ、引き続き取り組みを進めていきたい。

6月には地域貢献委員会や児童発達支援センターと協同し地域住民向け研修会を開催した。アンケートの結果より満足度は高いものとなっていたが、地域住民の参加が少ないことが課題である。次年度以降テーマや案内の内容を検討し、地域で求められる研修会となることを目指していきたい。

2. 事業実績

(1) 事業所アドバイザー実績

事業所名	内容
きつず	PEP-3によるアセスメント、事例検討を合わせて計6回
きつずⅡ	PEP-3によるアセスメント、事例検討を合わせて計6回
ひ・よ・り	PEP-3によるアセスメント、事例検討を合わせて計6回
きつずぶらす	PEP-3によるアセスメント、事例検討を合わせて計6回
いっぱい	動画によるインフォーマルアセスメント、特性に関する勉強会

(2) 研修参加実績

研修名	内容	参加人数
e サービス 基礎講座	自閉症支援の基礎（オンライン）	2
e サービス アドバンス講座	自閉症支援の発展（オンライン）	2
e サービス 総社 2day	総社はばたき園での実践演習	1
原点レクチャー	自閉症理解や支援の原点	1
コンサルタント養成事業	コンサルテーションへの同席	1
発達障害支援 SV 養成研修	オンライン研修+実践研修（はるにれの里）	1

(3) 外部視察実績

施設名	場所	日程
京都市発達障害者支援センター「かがやき」	京都府	10月7日
NPO 法人 発達障害サポートセンターピュア	大阪府	10月17日
社会福祉法人 北摂杉の子会	大阪府	11月14日

3. 職員の状況

(4) 職員の状況（2026年3月31日現在）（単位：名）

	センター長	支援サポーター	合計
常勤職員			
非常勤職員	1	4	5

(5) 職員の勤務体制（2026年3月31日現在）

A 勤	8:15～17:00（休憩45分含）	D 勤	13:00～17:00
B 勤	8:45～17:30（休憩45分含）	E 勤	8:45～12:45
C 勤	8:15～12:15	F 勤	13:30～17:30

4. 主な年間行事

なし

5. 施設整備

なし